

23. 紙ブーメラン

1. ねらい

紙ブーメランを作ることを通して、創作活動の喜びを味わい、手作りの良さを気づかせます。
また、上手に投げるために工夫することを通して、科学に対する関心と興味を持たせます。

2. 時期・時間・人数

- ・年間を通じて活動可能です。
- ・1～2時間
- ・250人程度（プレイホール）、50人程度（クラフトホール・2Fロビー）
人数に応じて、その他研修室も可

3. 準備（よくお確かめください）

自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
ハサミ ホッチキス マジック	厚紙（使用済はがき、牛乳パック、 ティッシュペーパーの空き箱等） 新聞紙、鉛筆、定規

4. 活動内容

（1）活動の流れ

- ①3枚翼の紙ブーメランを作ります。
- ②紙ブーメランで遊びます。
- ③紙ブーメランを使ってチームリレーで競います。

（2）展開例

場 所	プレイホール、なかよしホール、各研修室、屋外等 但し、製作は宿泊室でも可能です。
-----	---

内 容	時 間
・事務室で用具を受け取ります。 ・「作り方マニュアル」（添付資料）を見て製作します。 ※ ・翼の角の部分は人に当たっても怪我をしないように 必ず丸くカットしてください。 ・左利き用と右利き用では作り方（羽根の重ね方）が 違うので注意しましょう。	30分
・マジックで表面に絵を描きます。 ・後始末をします。 ・事務室に用具を返納します。	10分 10分

①3枚翼の紙ブーメランを作ります。

②紙ブーメランで遊びます。

- ・ブーメランが手元に戻るように翼の角度を調整しましょう。
- ・紙ブーメランの表面を自分の方向に向け、親指と人さし指の2本でつまむように持ちます。ブーメランがよく回転するように後ろ（手首側）に倒して構えます。
- ・垂直より少し外（人さし指側）にブーメランを傾け、手首のスナップを使って縦の回転を与えながら、目の位置より少し高めに投げます。
- ・戻ってきたブーメランを両手ではさむようにキャッチします。
※翼の角度のチューニングが強すぎると抵抗になり、ブーメランの回転が落ちてしまうので、最初は軽めにチューニングしましょう。

③紙ブーメランを使ってチームリレーで競います。

- ・チームリレーゲーム（実施例）
数チームに分かれ、どこが早くゴールするかを競います。
 - 直径4メートルのセンターサークルの中心から10メートル（状況に応じ変更可能）の地点をスタートラインとします。
 - スタートした選手はセンターサークルまで走り、円内からブーメランを投げキャッチします。
キャッチしたらスタートラインに戻り、次の選手にブーメランを手渡します。
これを繰り返し、最後の選手がゴールするまでの早さを競います。
 - キャッチは円外に出てもかまいませんが、投げる時は必ず円に戻って円内から投げなければなりません。
 - 3回以内にキャッチできなければそれで終了したこととし、次の選手につなぎます。

5. 留 意 点

- 製作前にブーメランの歴史、ブーメランの飛び方について事前学習すると良いでしょう。
- 製作時、右利きと左利きでは作り方が逆になります。
- 紙ブーメランは重いほど遠くへ飛びます。（回転範囲が大きくなります。）
- 全員が作り上げて飛ばせるようになることが大切です。最初に失敗すると興味をそがれて、以降遊ばなくなります。そのためには、引率指導者は作り方、飛ばし方（チューニングの仕方）を事前にマスターしておきましょう。